

◆ 本殿



天文10(1541)年に武田信虎公・信玄公により再建されたものです。本殿の特徴は三つの扉があり大きな屋根が正面に流れている三間社流造檜皮葺という建築様式です。昭和4年本殿が国宝（のち重要文化財）に指定されました。令和元年には40年ぶりの屋根葺き替えを行いました。



本殿屋根に佇む鬼面

本殿の屋根の端には色鮮やかな魔除けの鬼面がにらみをきかせています。



◆ 秋 武田八幡宮 例大祭

豊作と収穫に感謝するお祭りです。武田八幡宮神楽団により多数の舞が奉納され祭りを盛り上げます。毎年10月14日に近い日曜日に開催。



◆ お問い合わせ

☎ 0551-33-9370

受付時間：10時～16時（月・水除く）
不定で休み有り

メール：takedahachiman8@mx2.nns.ne.jp

ご祈願・授与品の郵送、その他ご相談等のお問い合わせは、お電話又はメールにて承っております。

■ 公式ホームページ

年間行事や授与品、新着情報など情報を掲載しております。ご参照ください。

<https://takedahachimanguu.com/>



◆ 所在地

〒407-0042 山梨県韮崎市神山町北宮地 1185



- 韮崎駅からバスで15分（韮崎市市民バス円野線）「武田八幡宮入口」下車、徒歩約10分
- 韮崎ICから車で約20分



◆ ご由緒

今からおよそ1200年前、弘法大師がこの地へ来られた時、八頭山を背にした中空へ八幡神・八幡大菩薩が現われ「我をこの地に祀ったならば国家は安泰であらう」とお告げがありました。弘法大師は京へ帰り天皇に申し上げたところ、弘仁13(822)年、第52代嵯峨天皇の勅命により、九州の宇佐神宮（八幡総本宮）を勧請し土地の神、武田武大神を合祀し創建されたのが起りといわれています。その後、貞観年間(859～877年)には京都石清水八幡宮の御霊を社中に勧請しています。保延6(1140)年、新羅三郎義光のひ孫、信義公が武田八幡宮の神前で元服、武田家を名乗り甲斐武田が発祥しました。信義公は広大な館を構えるとともに、武田八幡宮の本社・末社などをご建造され武田家の氏神として尊崇しました。

■ 安産御守 / 1000円

母子ともに健康でお産が安らかでありますよう祈願したお守り。



■ 勝守 / 500円

スポーツや受験など勝負事で力を発揮できるよう祈願したお守り。

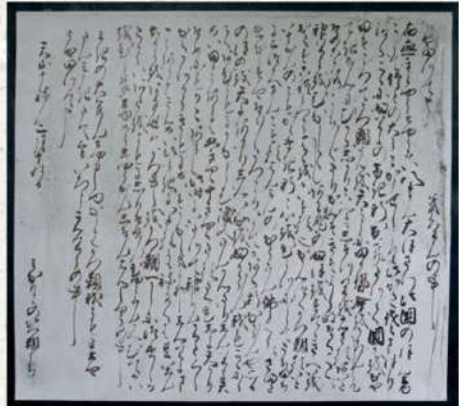
ペットのお守り



🐶 犬守 / 各500円 🐱 猫守 / 各500円

ペットの健康長寿や交通安全を祈願したお守り。猫守は、白・黒・三毛・トラ・ハチワレの5種類。犬守は、白・黒・柴・プチ・茶の5種類。

◆ 武田勝頼夫人 願文



武田勝頼公は、天正9(1581)年に新府城を築きました。ときすでに形勢が悪く織田信長に攻め立てられました。夫人は武田家の武運等を祈願し、天正10(1582)年2月19日に祈願文を納めました。願文奉納も効することなく、勝頼公一行は3月3日に新府城を後にし岩殿城へ向かいました。そこで小山田氏の裏切りにあい3月11日に田野で悲しい最後を迎えました。時に夫人は19歳、勝頼公は37歳。

◆ ニノ鳥居(两部鳥居)

武田信虎公・信玄公により再建されたものです。元禄14(1701)年再興、寛政元年(1789年)再々興とあることから現存しているものは320年余の歳月が経っており、県の文化財に指定されています。



神輿を置くために使われた石。



◆ ご祭神

武田武大神(日本武尊の御子)
 誉田別命(応神天皇)
 足仲津彦命(仲哀天皇)
 息長足姫命(神功皇后)



◆ ご利益

学問 安産 勝負運
 開運 産産

◆ 一ノ鳥居



武田八幡宮入口の交差点近くの歩道に2本の石造の柱があり、武士の時代には一ノ鳥居で輿または馬から降り二ノ鳥居で刀を納め参拝したといわれています。

◆ ニノ鳥居の額束

これは信玄公が書いたものだとわれています。武の字が一画多いのは神の前に刀を抜かない決意の表れといわれています。

◆ 三ノ鳥居(明神鳥居)と正面石垣

石垣の上に立つ石鳥居と正面参道側の石垣と石段、隨身門前の石積みは境内の入口の彩態としては、他に例のない珍しいものだとされており、県の文化財に指定されています。

◆ 二神の神像

矢大臣



隨身門の入口左右に武官の装束を着た剣と弓を持つ隨身姿の神像を祀っています。

左大臣



◆ 摂社 若宮八幡宮



承久2(1220)年、武田信義公の弟である加賀美次郎遠光公により建立されたものです。祭神は、仁徳天皇(応神天皇の御子)が祀られています。

◆ 末社 為朝神社

八幡太郎義家のひ孫で、源頼朝の叔父である鎮西八郎源為朝公を祀った神社です。保元の乱で敗れ伊豆大島に流されました。そこで疱瘡の神を弓矢で退いたことから疱瘡の神として信仰されました。徳川家康公ご入国の際も参拝し「武運長久・疱瘡麻疹安穩」を祈ったといわれています。為朝神社は、病魔退散、厄神除け、子供の健やかな成長を祈願する神社です。

◆ 為朝神社 御朱印 / 500円



◆ 為朝神社お守り / 各500円

病魔退散、厄除け、子供の健やかな成長を祈願したお守りです。

